

「クラブの広報活動の現状」

大阪金剛ロータリ - クラブ

プログラム広報委員長

櫻本 主税

創立 3 年を経過した当クラブでは、地域に密着した奉仕活動を通じて、早く住民にロータリ - への理解とクラブの存在を広く認知してもらうことは優先課題として取り組んでいます。毎年ゴールデンウィークに開催される大阪狭山市の恒例行事に育ってきました「狭山池まつり」に、前年度はテント張りのロータリ - ブースを設けて、17 年 6 月 11 日（土）に計画しておりました「さやま青少年フェスタ 2005」のポスタ - 展示とリ - フレットを積極的に配布してクラブの P R につとめました。お蔭様でフェスタ当日は小雨模様にもかかわらず「さやかホ - ル」に 700 名以上の参加者があり大成功に終わりました。

今年度も「狭山池まつり」に合わせてテント張りのロータリ - ブースを予定しています。ブースでの活動内容や展示物につきましてはこれからの検討となります。

また、市のシンボルであります「狭山池の水質保全」のために毎月一回行われている「狭山池クリ - ン・アクション」には各種団体や個人奉仕家と一緒に会員はクラブのロゴ入りジャンパ - を着て参加しています。この他、会員の中には、いろんな団体や N P O などに所属して、そこでの活動がロータリ - クラブの公共イメージの向上にもなっている様です。大きなメディアは無理としても、時には地元の広報やミニコミ紙を活用して、いろんな活動を通じて地道に広報活動を努めていきたいと思ひます。

次に、当クラブ提唱の「初芝堺中学校インタ - アクトクラブ」は中学生としては初めての I A C ということで注目度は大きく、高齢者福祉施設訪問などの奉仕活動はロータリ - の広報活動にも大なる貢献をしている事でしょう。学校側ともよく連携を取りながら温かく見守って行きたいと思ひます。

（注）「さやま青少年フェスタ 2005」については、平成 17 年 11 月号「ロータリ - の友」p28 に紹介されています。

平成 17 年 6 月 11 日（土）ロータリ - 100 周年記念事業として S A Y A K A ホールで開催。副題に「オリンピック・メダリストと語ろう」。ゲストにアテネ・オリンピック シンクロナイズドスイミング・銀メダルの立花美哉さんと日本代表監督の井村雅代さん（大阪狭山市在住）を迎えて。

第一部 地元中学生による吹奏楽演奏

第二部 立花さんと司会の伊藤会員とのトークショウ（フロアも一体となって）

井村さん講評

後援 市内小中学校・P T A・教育委員会

協力 初芝堺中学校